

# 純 潔



成人向





PRINCESS PRINCESS 別冊

# 純潔



18才未満の講読、購入を禁じます。



何故今更クラリスなのか。

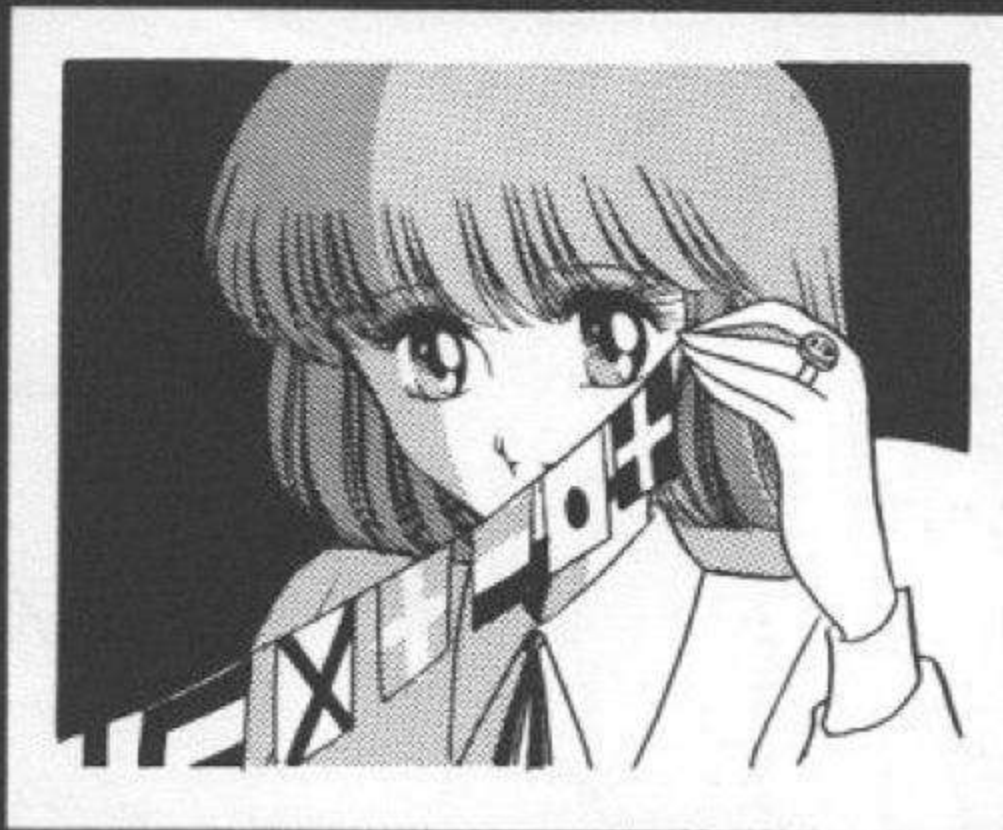
カリオストロの城が初めて公開されたのが1979年、今から14年程も前の話になります。それからもう様々な美少女キャラクター達が、アニメ、漫画の枠を飛び出しおかずとなって消えていきました。んでもって去年から今年にかけて、世間様ではセーラームーン一色に染まったこの時期に、何で今更10年以上も経過したキャラクターをわざわざネタにせねばならんのかちゅうと——ま、そりゃもうアンタ、好きだからに決まっていますかな。

もともとこの本に載ってる漫画は、昨年冬に発行した裏プリプリ用に描きあげたモノです。ところが調子にのっけてもりもり描いてる内に予定の頁数をオーバーしちゃいまして。このままでは価格設定が出来んちゅう事で、いったんプリプリ用にはマリオネタをカマしといて、改めてクラリスはクラリスで一冊の本にして出しちまおうと思った訳です。

も、とにかくほかア クラリスが好きで好きで。機会があればいっぺんでいいから汚し…、もとい描いてみたいと常々思っていました。何はともあれ今回こういう形で本に出来たのは、自分では満足満足と言ったところです。

にじみ出る欲望の汁をこすり付けたカタマリ。どうぞ御賞味下さい。

II5.4.1 堀川悟郎





カリオストロ伯爵夫人。  
それが少女の今の呼び名。





クラリス ド  
カリオストロ  
17才の少女は  
本来なら大公  
の娘として  
幸せな生活を  
送れるはずで  
あった。



が！



「い、いや…  
やめて、来ないで…。」





「いやあああああ！」  
「夫婦だろう。恥ずかしがる事は無い。」



少女の純潔は無残に引き裂かれ、踏みにじられた。



「可哀相に…。」







愛など無い。ただ欲望を満たす為だけの夫婦。  
高い塔に監禁され、その肉体を弄ばれ続ける。



「誰か、助けて…。」

e n d





かざりの鳥





今の私には時間  
など何の意味も  
ないのです。

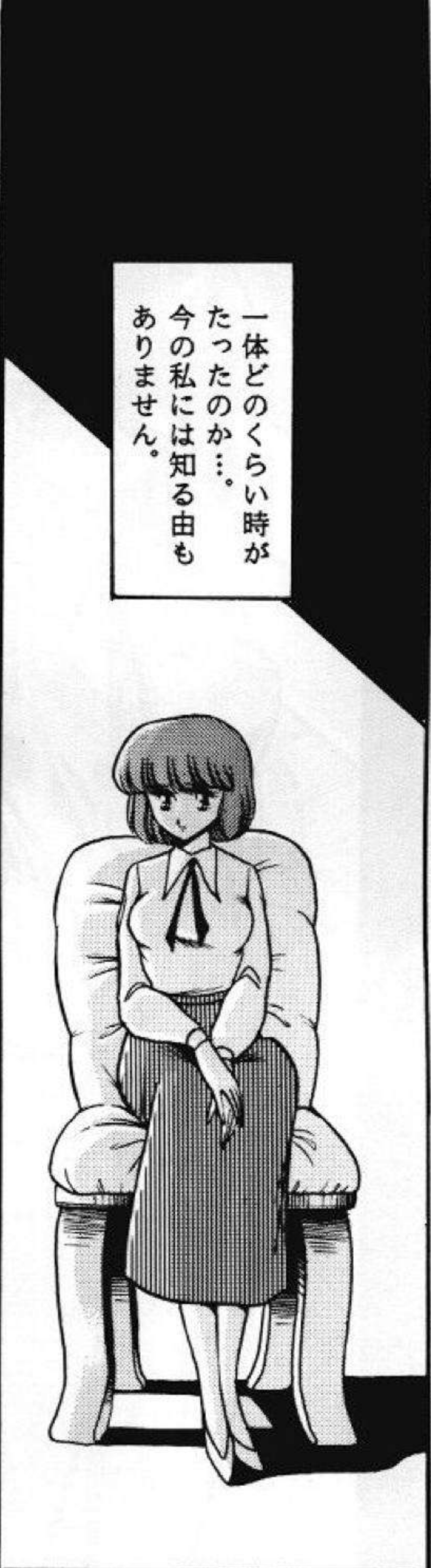
一体どのくらい時が  
たったのか…。  
今の私には知る由も  
ありません。



なぜなら—。



私に与えられた  
時間はすべて  
私のものでは  
ないから…。





いい子に  
してたかな。

クラリス。



は…

はい。



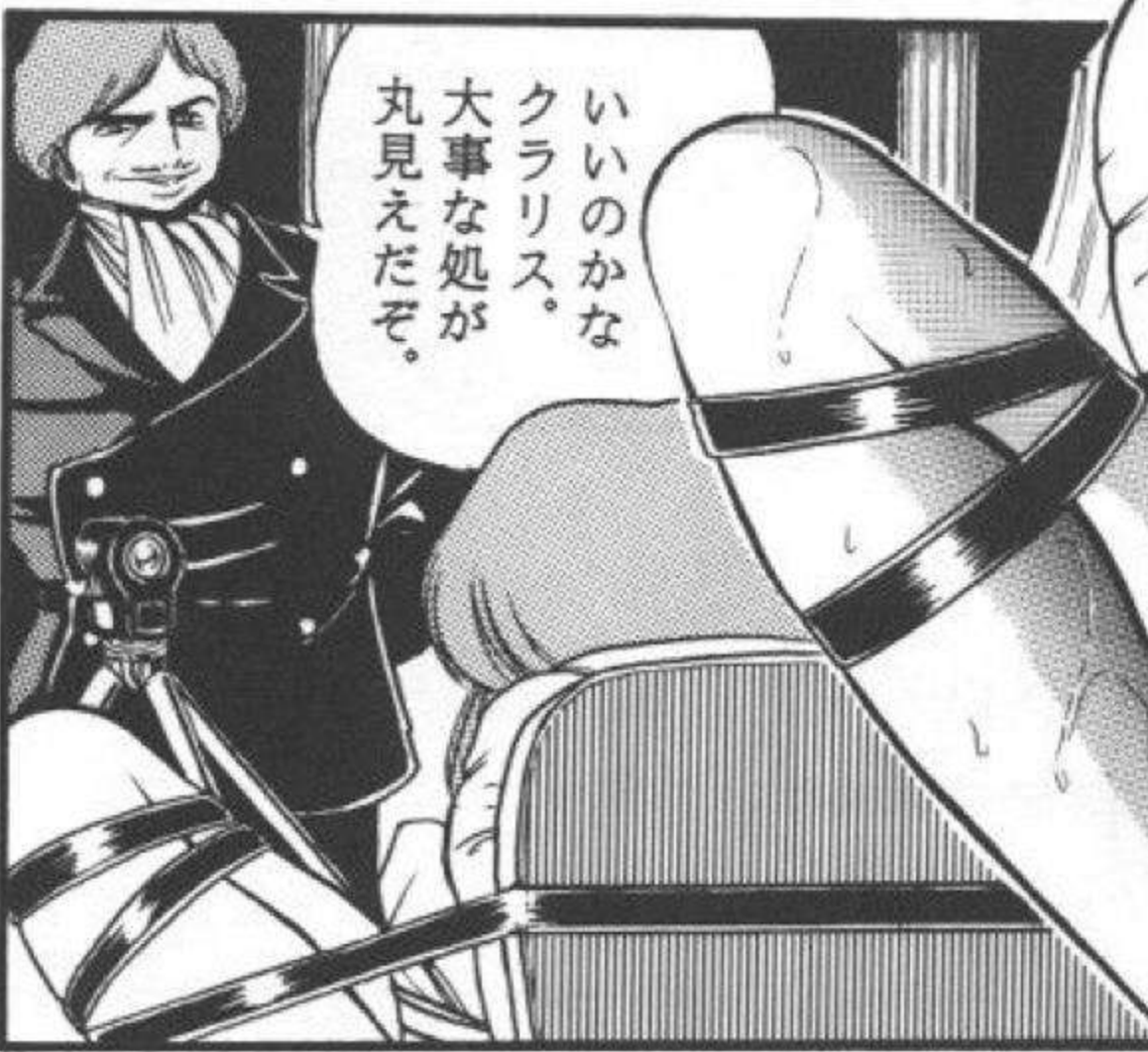




はあ…ん。



ザンザンザン



いいのかな  
クラリス。  
大事な処が  
丸見えだぞ。



…ゆ…  
ゆるして…

許して  
下さい…

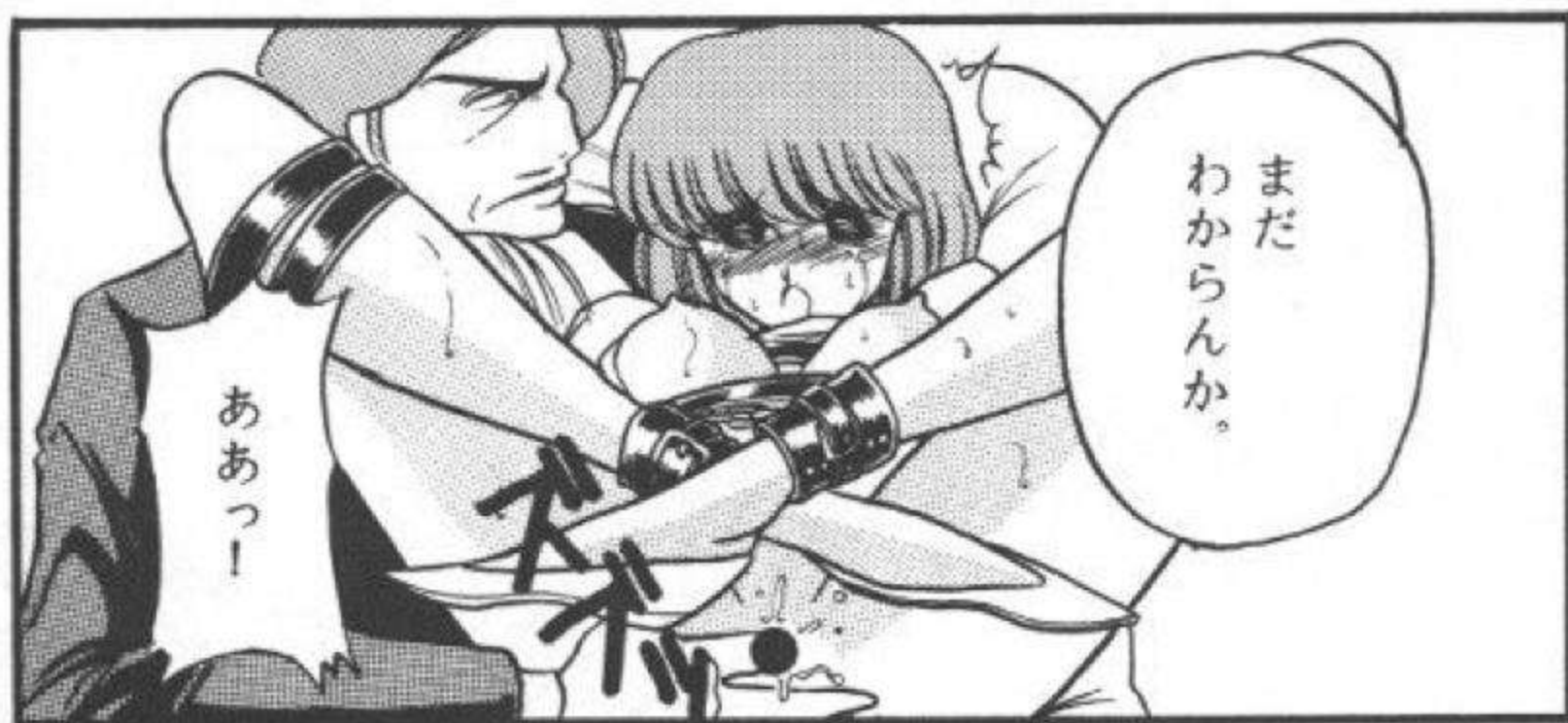


—あ

はあ…

じゅ…じゅ…









ラ...

ラサール...



聞こえんぞ。  
もっと大きな  
声で言え。

.....  
ラサール・ド



カリオストロ  
伯爵様です...



ようし、よし  
ようやく思い  
出した様だな。

あ...



そうとも  
お前は俺に  
飼われた  
奴隷なのだ。





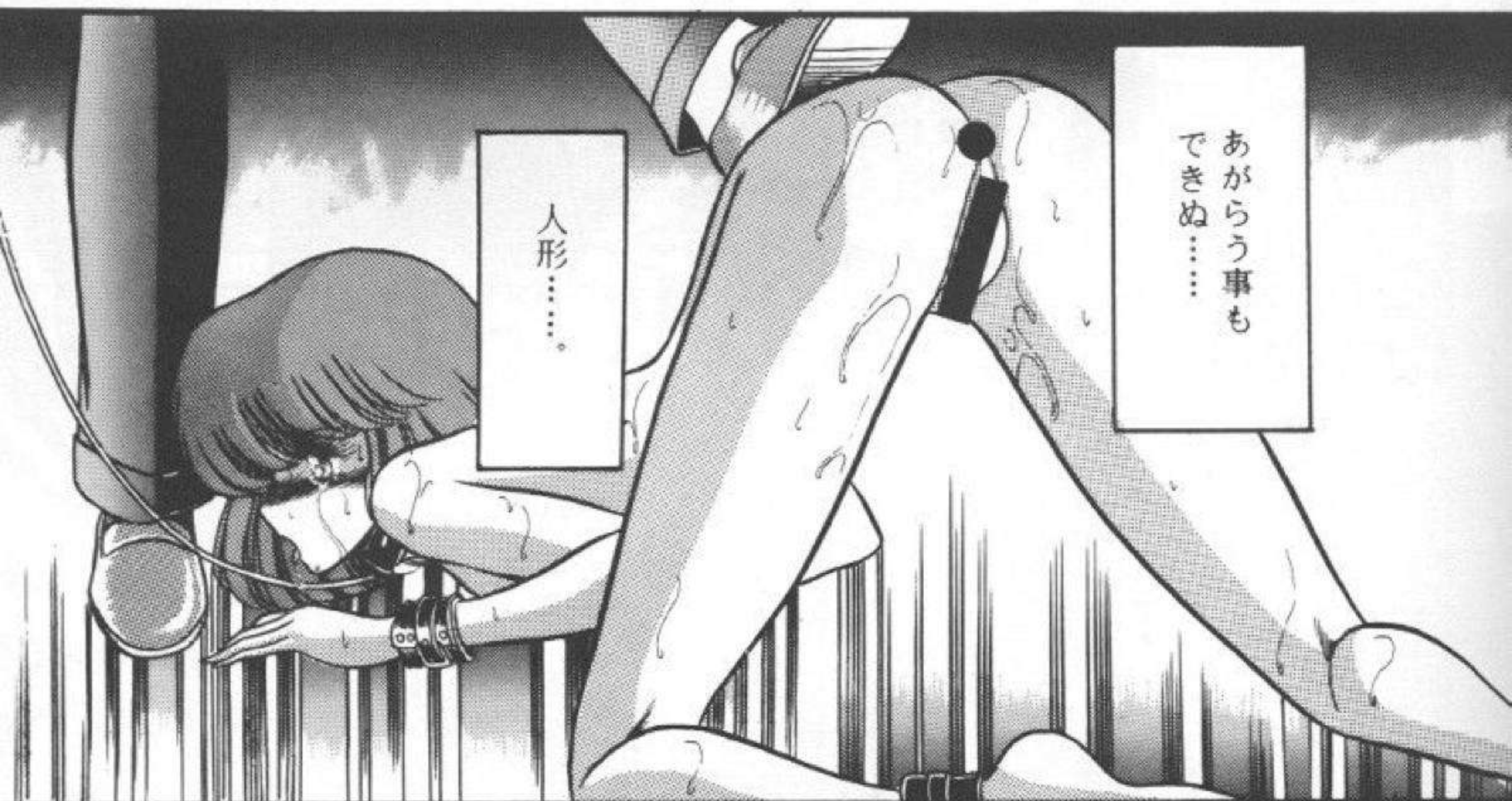


今の私は  
奴隷……。

捕らわれた  
哀れな籠の鳥。



ああ、  
そうなのだ。



あがらう事も  
できぬ……。

人形……。



しゃぶれ。



ひっー





いつ見ても  
グロテスクな…



うう…

うっ



フン、この牝犬が  
いやらしい顔を  
しよって。



あふっ

うふう…



うふう

はあ  
はあ



お前も生まれ  
ついでの  
淫売なのだよ。



お前もやはり  
カリオストロの  
人間だ。





ああっ！

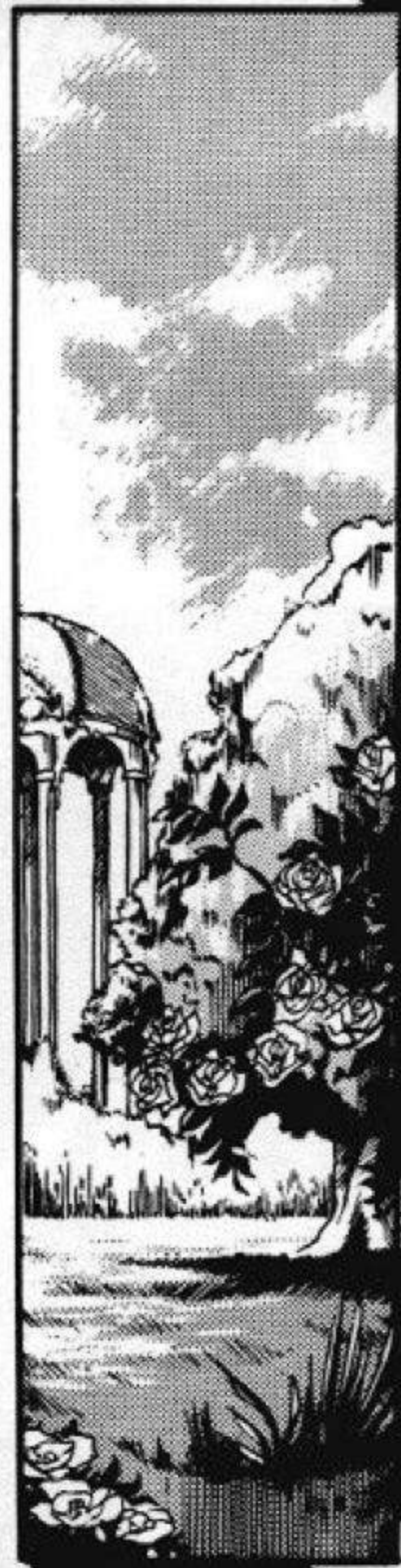


！



クラリス

…リス



はあ

はあ

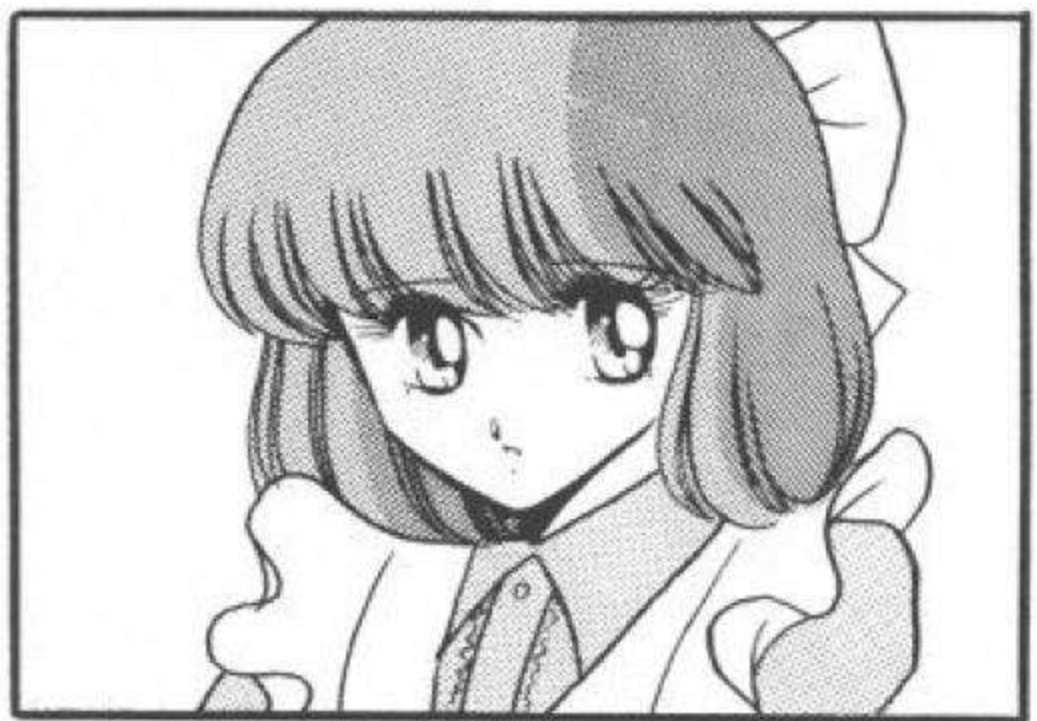
はあ

はあ





やあ、  
クラリス。



おやおやそれは  
つまらないねえ。

うん…。でも御父様  
最近お忙しくて  
ちっとも遊んで  
くれないのよ。



ラサール叔父様。

久しぶりだねクラリス  
元気にしてたかい。



ようし、それじゃ  
おじさんが  
代わりに遊んで  
あげよう。

ホントー！



ああ、本当だとも…。





優しかったラサール  
叔父様……。  
今にして思えば  
あの頃の笑顔も  
偽りの微笑み  
だったのでしよう。



しかし、幼い  
私にとっては  
誰よりも優しく  
素敵な叔父様  
でした。



信じていたかった

……。

それにしても  
いい肉体にな  
ったものだ。



乳もこんなに  
でかくなり  
おつて。

あ……







そうら  
 見てみる  
 クラリス。

こんな...

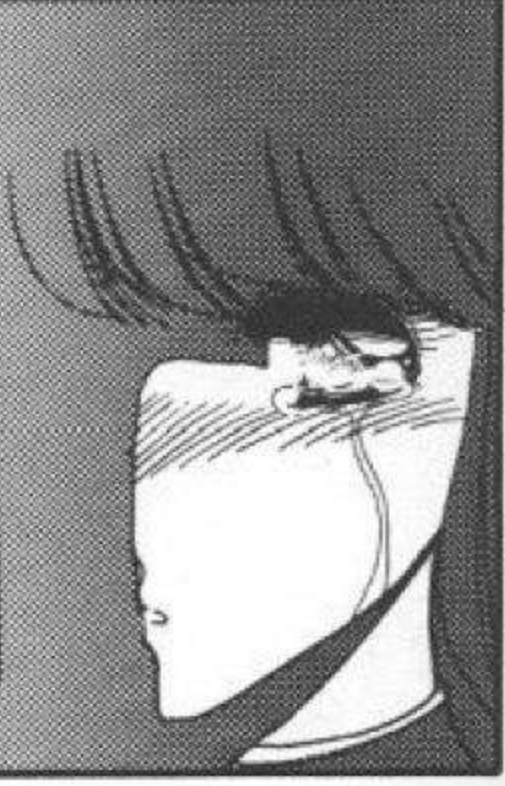


お前の中に  
 俺のモノが入って  
 いるのがわかる  
 だろう。

こんなことって...



御父様達が生きて  
 いれば今頃は  
 幸せな結婚をして  
 幸せに暮らして  
 いたでしょうか。







奪われ...



おしりの穴  
までも  
貫かれ...



剃られ...





排泄する処を  
カメラに撮られた  
事もありました。

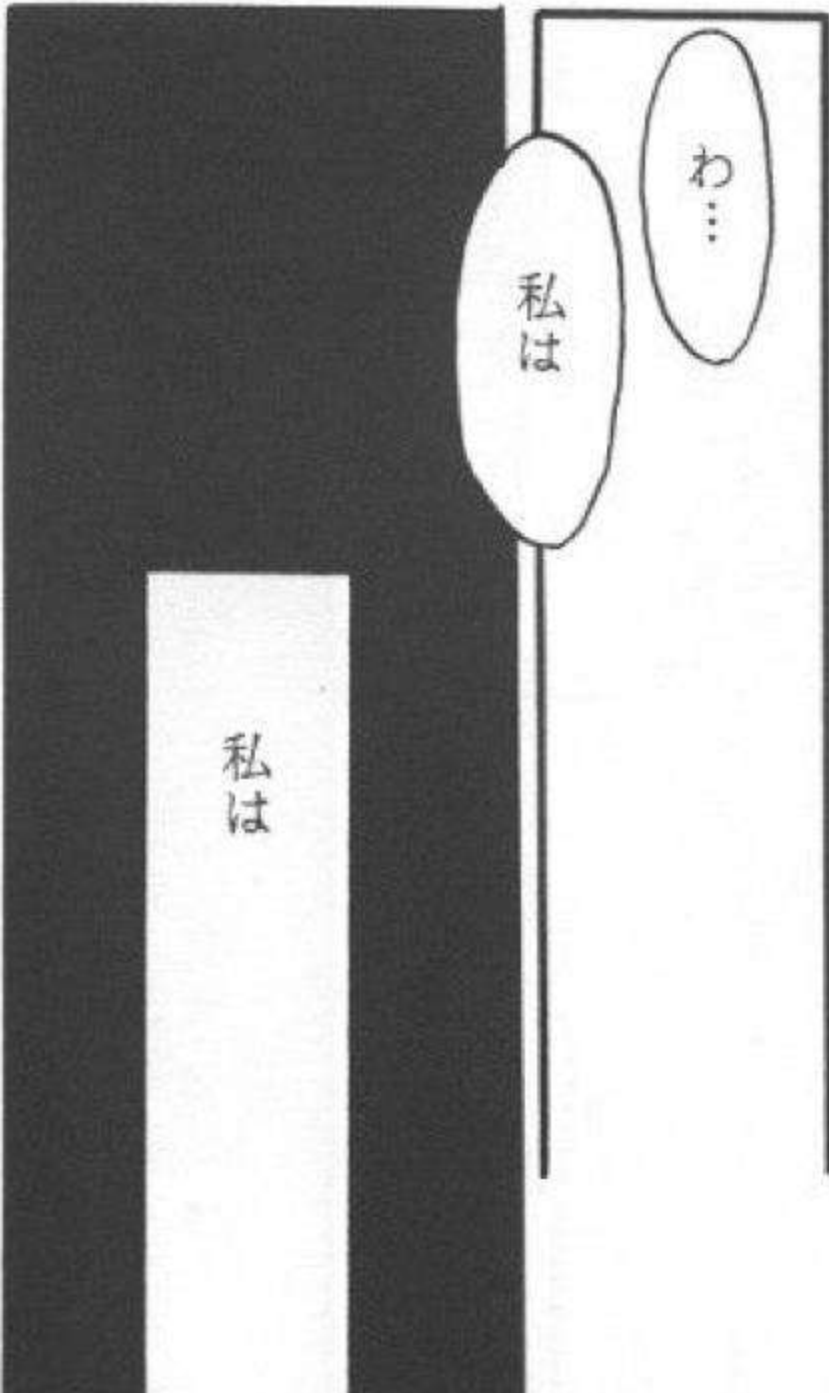


全身をくまなく  
まさぐられ、私の  
身体で伯爵の手が  
触れてない処は  
ありません。



ただ、ただ  
カリオストロ伯爵を  
満足させるおもちや  
としての生活……。









もうこの先  
一生

この男の  
奴隷…。



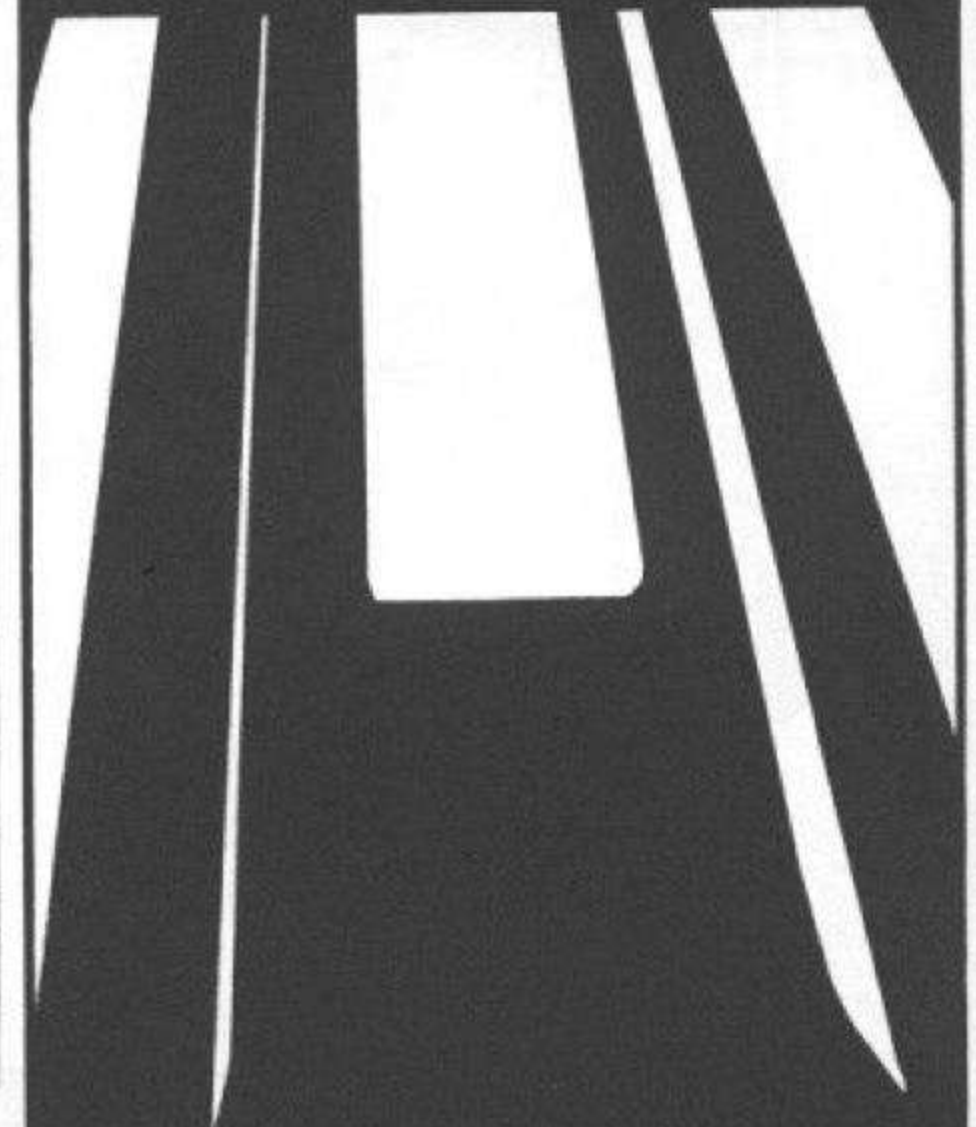
カリオストロの  
城に捕らわれた

哀れな  
奴隷…。













**END**

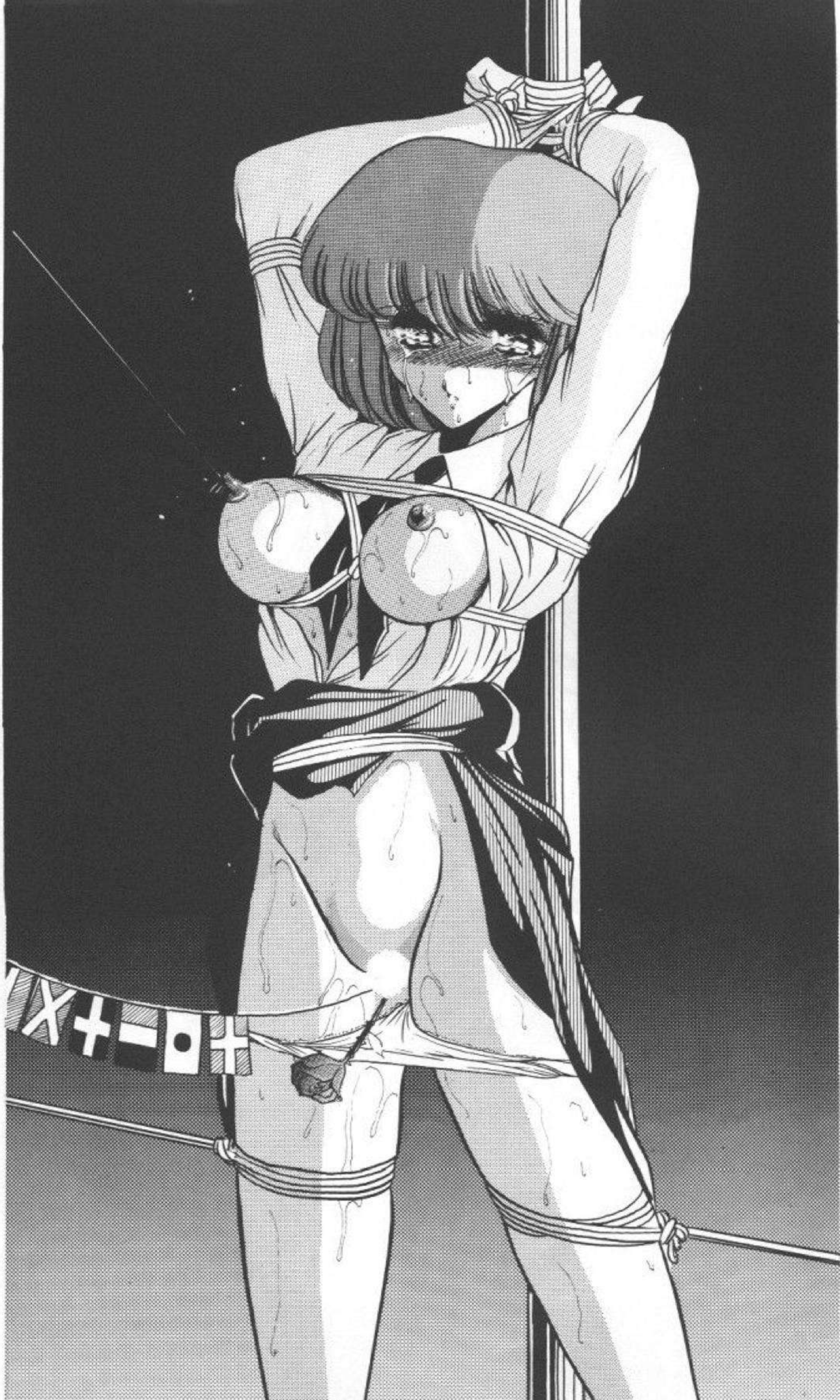


さしおきして...



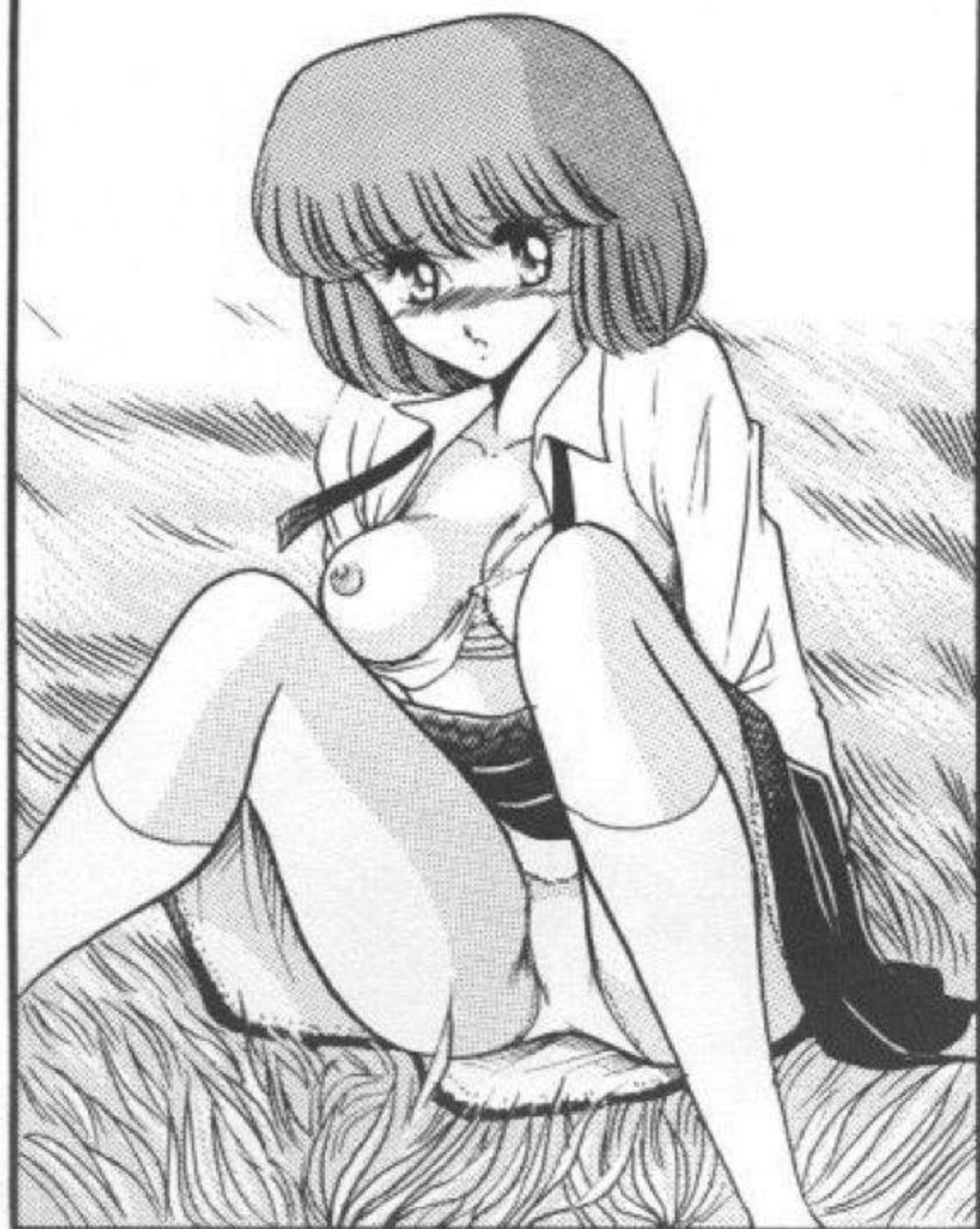




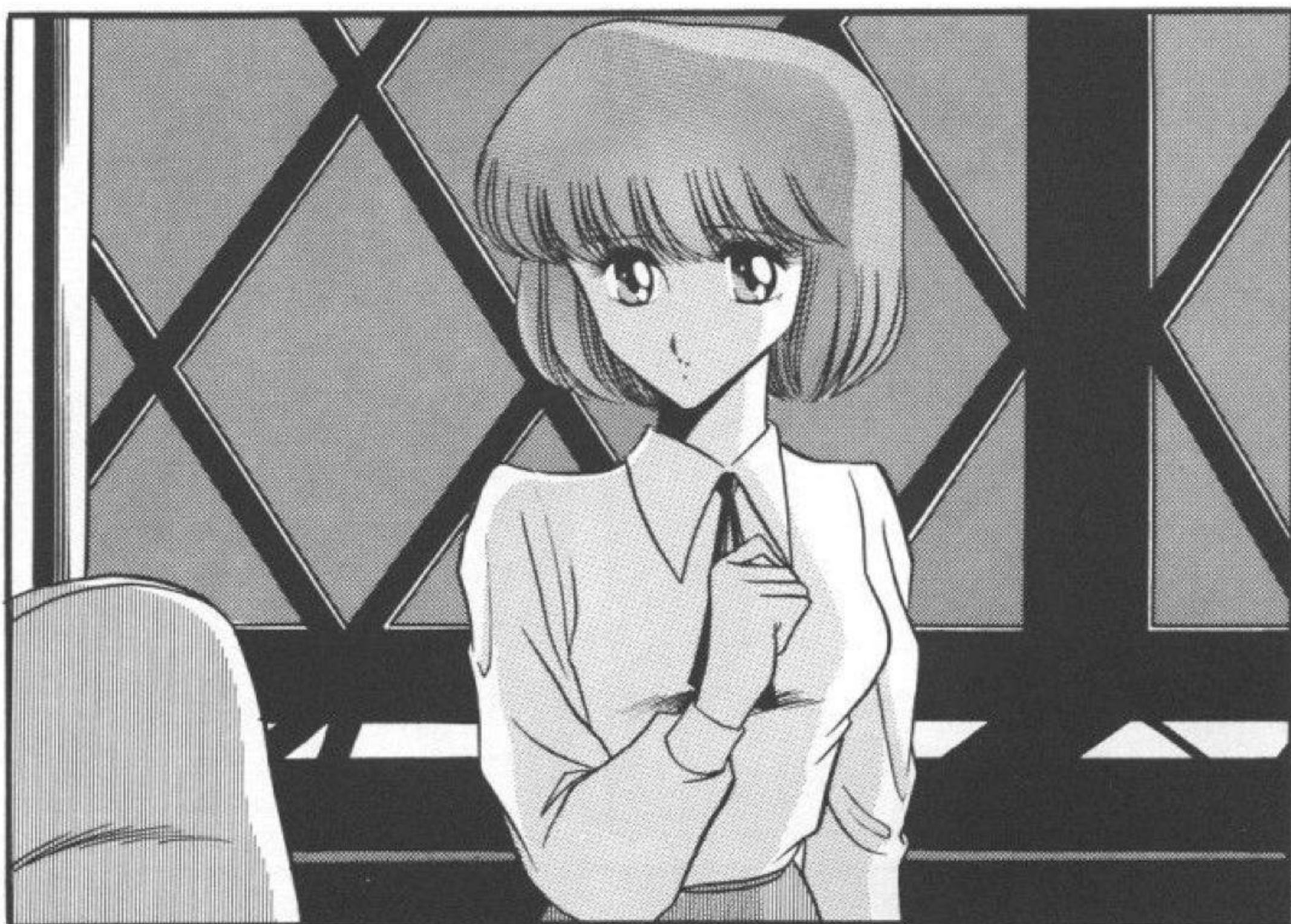




クラリス  
可愛相なクラリス。  
真っ白な衣服は  
引き裂かれ、  
汚れを知らぬ肌  
荒縄が食い込んで  
くる。  
少女は喘ぐ様に  
ため息をもらす。



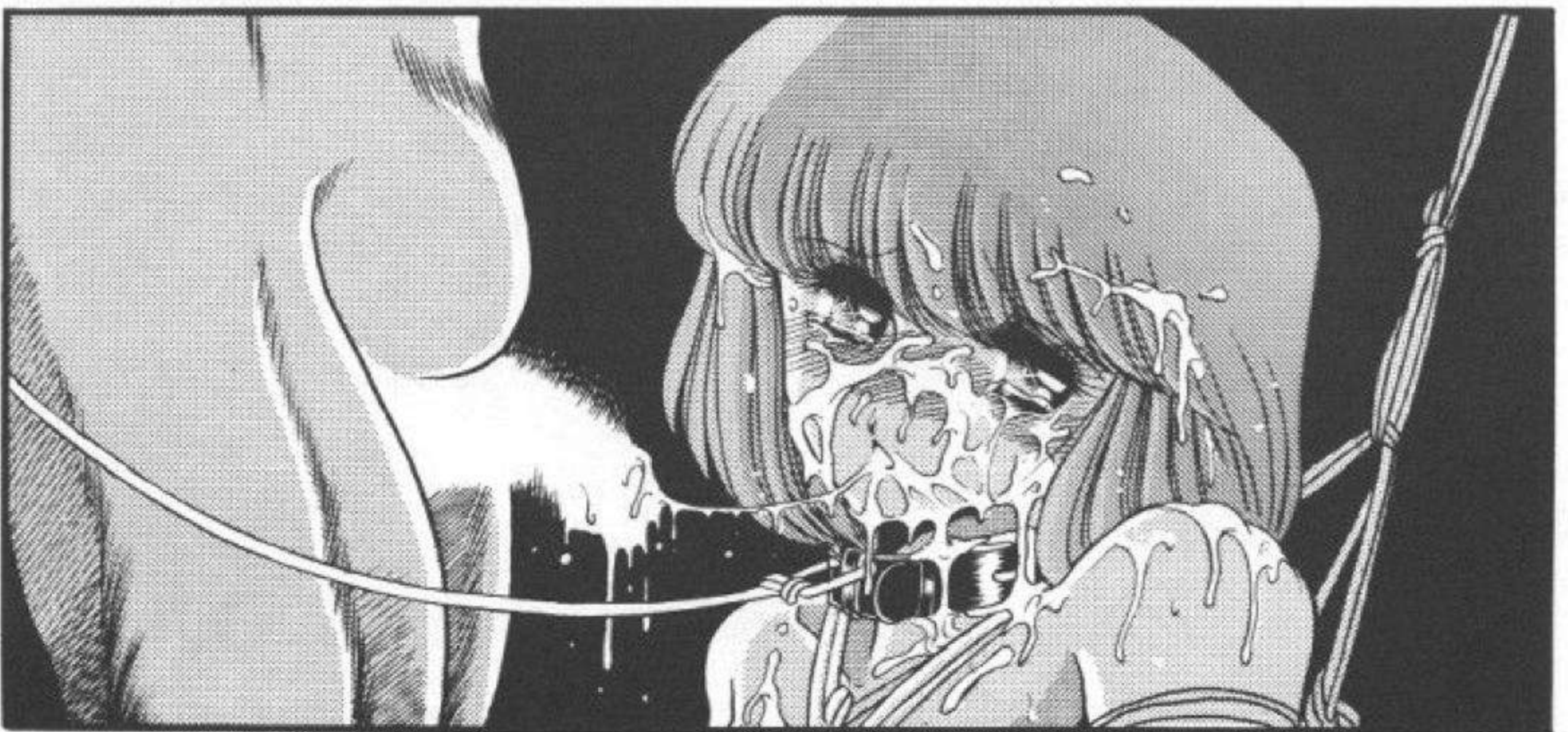
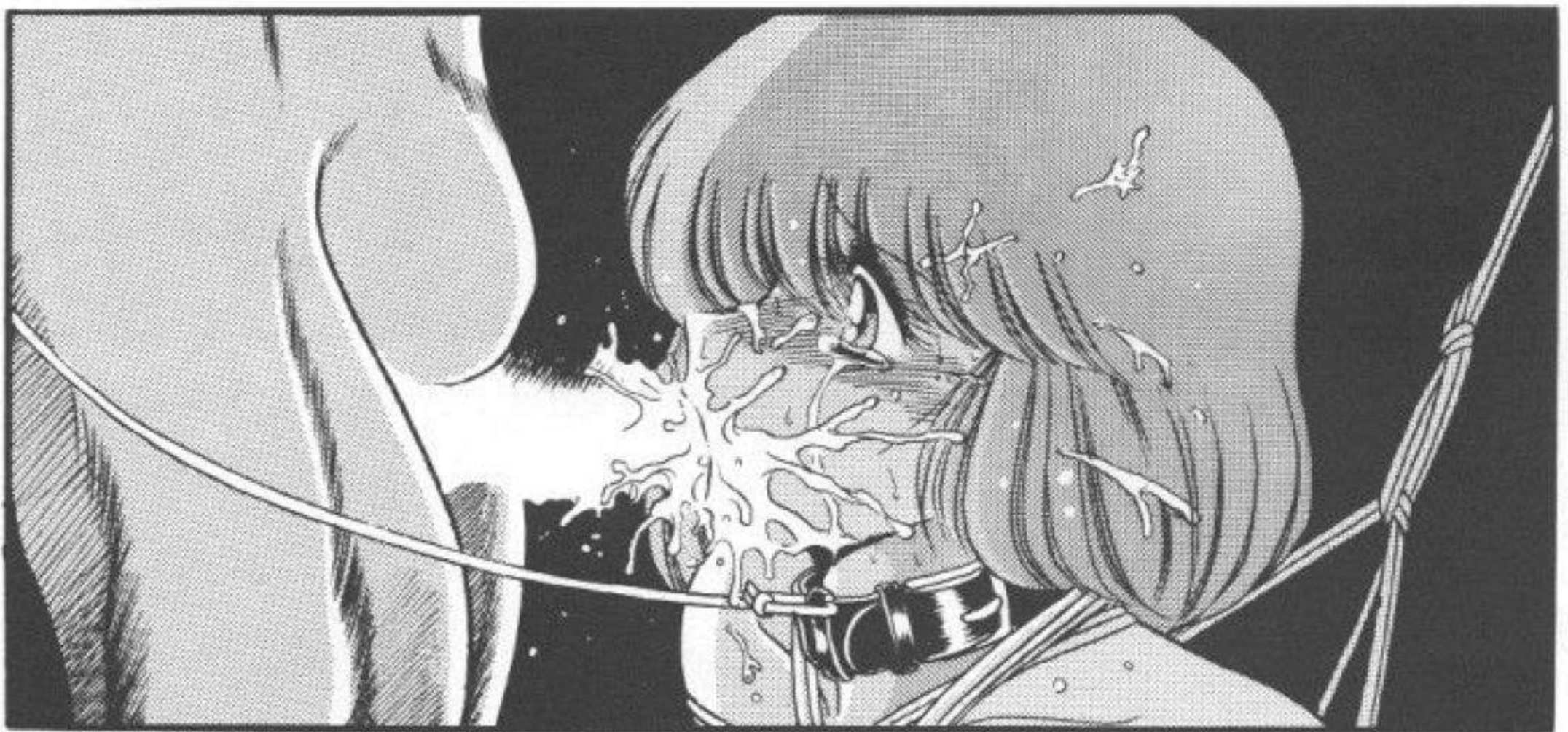
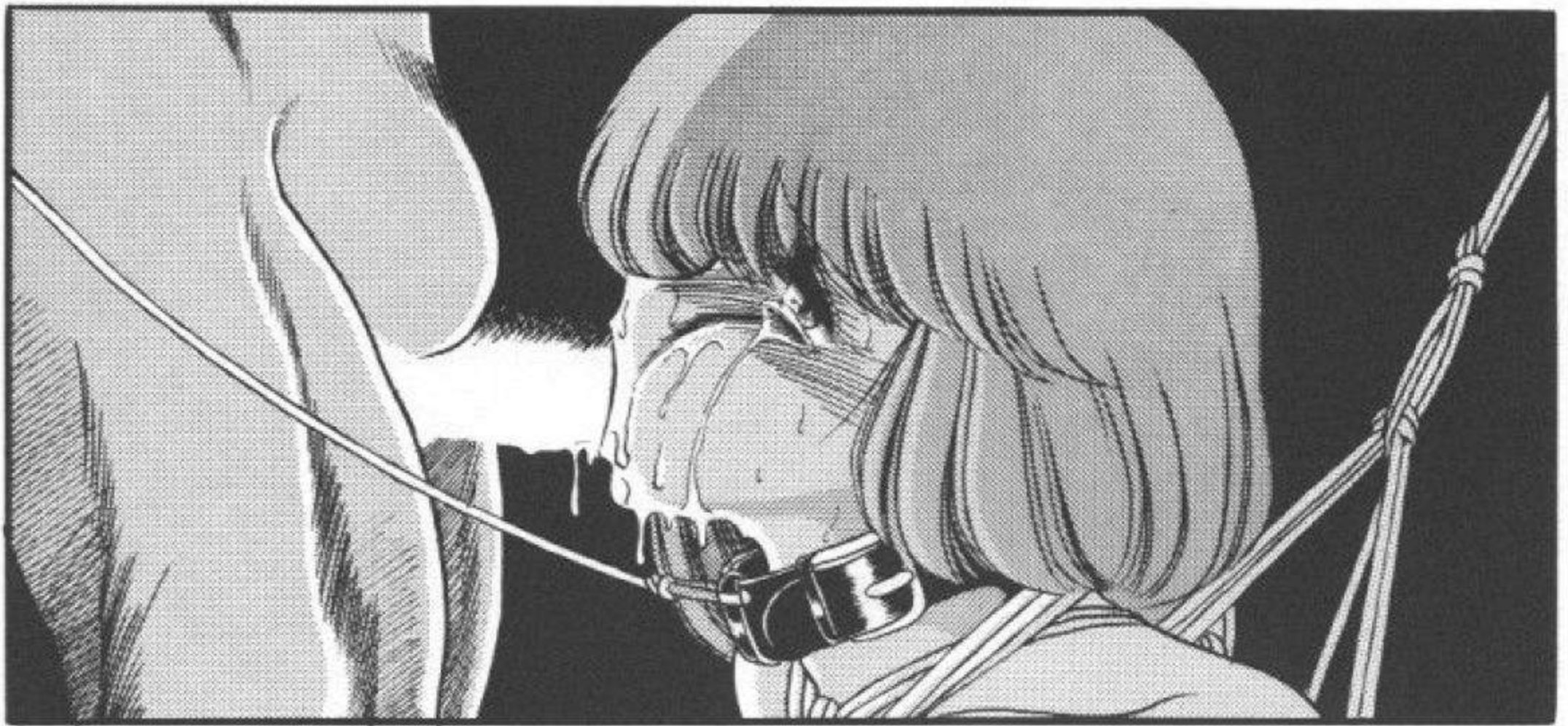
















少女はただ喘ぐ事  
しか出来なかつた。  
抵抗する術を知ら  
ず、されるがまま  
その肉体をもて遊  
ばれるしか、今の  
少女には出来な  
かつた。



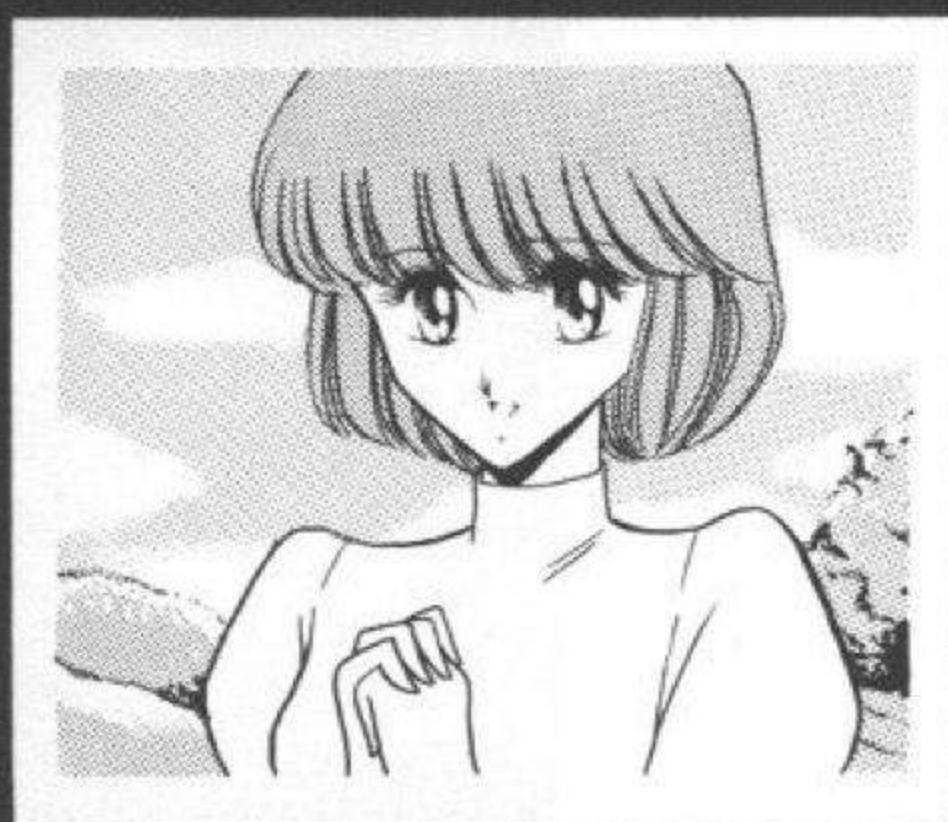




## あとがき

さて、プリンセスプリンセス別冊「純潔」如何だったでしょうか。  
ま、ほとんどの人はなんで今更クラリスをネタにせにやならんのかっちゅう感想をお持ちでしょうがそこはそれ、私が好きだからって事で御勘弁下さい。  
とにかくこの本はウケ狙いはあんまり考えていませんで、ただ欲望の赴くまま、ちんちんのたぎるままにペンを走らせたという大変趣深い本な訳です。それ故に中身が一人よがりというか、イメージぶち壊したというか、ちょっと内容的にはつまらないものになっちゃたかも知れません。  
クラリスをネタにした本はその当時は色々あったのかも知れませんが、僕自身あまり見た事がありません。だからストレートに自分が見たい本を作ったつもりなんです、やっぱり自分でもちょっとイメージ狂っちゃいましたかね。もともとクラリスってキャラクターは真っ白な印象がありますんで、こういう面妖系の同人誌には向いていないと思うんですが、それでもあえて作っちゃったのはやはり長年に渡ってため込まれてきた欲望の為せる業だということですか。  
とにもかくにも最初から最後まで自分一人で作った本ってのも実に久しぶりですな。いやひょっとして初めてか。ま、そのくらいリキ入ってるって事です。色々あるとは思いますが、とりあえず感想等ポリッとひとつ送ってくれたら嬉しいです。 はいじゃまた！

平成5年4月1日 堀川悟郎







奥付

プリンセスプリンセス別冊

「純潔」

初版発行：平成5年4月29日

発行：サークル太平洋天国

連絡先：



印刷：大友出版

<禁無断転載>

